



檜小だより

檜原学園檜原小学校



9 月 号

令和7年度

9月1日(月)

ホームページアドレス <http://rlco.jp/hinoharasyougakkou/>

“時短” が切り捨てているもの

校長 下川 耕史

この夏は、連日のように猛烈な暑さの報道が世界的に流れ、干ばつや局地的な豪雨が話題になることも多かったように思います。地震などの災害や、社会情勢の悪化から戦争まで、不安を掻き立てるニュースにも事欠きませんでした。そんな時こそ、人と人とのあたたかな繋がりを大切にしたいものですが、やはりニュースを見ると、人の間にも国の間にも不信や分断といったものが溢れていたように思います。

そんな時、土井善晴さんのお話を聞いてハッとさせられることがありました。土井さんは料理研究家ですので、料理についてのお話の中です。最近は料理をしない方や、レンジなどで簡単に温めて食事を済ます方も増えてきているといったような文脈でした。「レンジで料理を温めようとする時、その3分はもっと短ければいい、むしろない方がありがたい。ということは、その3分はその方にとって“**要らない時間**”なのだ」と。いわゆる“時短”に通じる話だと思います。何かをしようとすれば、必ずある程度の時間はかかるものですが、かかった時間は無駄でしかないのです。その時間を削減しようという意識があるとき、（一概には言えませんが）その時間は価値のない時間なんだとしたら、日常の中で、無意識のうちに一体どれだけの時間を無駄なものにしてしまっているのだろうとショックを受けました。

何かと忙しい現代、料理の手間を惜しむことや、レンジでチンすること自体をとにかく言いたいわけではありません。ただ、“早く済ませたい”や“もっと効率よく”といった、“時短（タイパ）”や“コスパ”といった言葉がとてももてはやされている風潮に、ちょっと立ち止まることがあってほしいと思うのです。近頃は、例えば長編の映画やドラマを見る時などの、そもそも楽しむための娯楽の時間であっても、早送りで見える人が増えているというのを聞いたことがあります。AIの普及とともに、考えることや苦勞して身に付けることを“効率”や“便利”傘の下ですっ飛ばしてしまうことも多くなっているのではないのでしょうか。

土井さんは、“時”とは“とき → 溶け合う”もので、“物と人、人と自然の関係性の中で溶け合うこと”だと語っておられました。それは、“自分の時間のことだけを考えるのではなく、相手にも時間があることを認める”ということで、“それぞれに敬意を払う”ということなのだそうです。せっかくかけなければいけない“時間”なのであれば、もっと価値あるものであってほしい。むしろ楽しめる心の余裕が欲しい。刹那的な強い刺激ばかりを求めるのではなく、手間や暇をかけることこそが豊かであると知ってほしい。もちろん、手間暇かければ何でも価値があるというわけではありませんが、忙しい現代、心に少しブレーキをかけて、深呼吸をする時間、周りを見渡す時間、何かに思いを寄せる時間を作りたいと思いました。そうして誰もが少し余裕をもって、人にも物にもちょっと優しい時間が作れたら、世の中あとほんのちょっぴりでも、明るい話題が増えるのではないかと思います。

学校評価へのご協力ありがとうございました

本日、別紙にて1学期に実施した学校評価の結果を配布させていただきました。

皆様からいただいたご意見を生かし、より良い学校となるよう教育活動を充実させてまいります。

9月の生活目標

生活のリズムを整えよう

夏休みが終わり、いよいよ2学期のスタートです。まずは、夏休みの生活から学校生活のリズムに切り替えることが大切です。元気に楽しく学校で過ごすためにも、規則正しい生活リズムで心と体の調子を整えることが何よりも大切です。「早寝・早起き・朝ご飯」を心がけ、2学期も、子供たちが元気いっぱい過ごせるようご協力をお願いします。学校では、熱中症対策として、水分補給の声掛けやWBGTの確認を継続していきます



防災引き渡し訓練

1 日時 令和7年9月2日(火曜日)

13時30分頃 メール配信にて連絡

13時30分 防災訓練開始

13時45分頃 引き渡し開始

2 場所 檜原小学校体育館

(中学生は全て檜原中学校で引き渡し)

車は、総合グラウンドにいる職員の指示に従って駐車されるようご協力ください。尚、総合グラウンドに入る坂道前で、早めにウインカーを出し、案内係の職員にアピールしていただけますと坂道で車がつまることなく、スムーズに駐車できると思います。ご協力をよろしくお願いいたします。

落語教室

7月10日(木)、

真打 林家たけ平さんを講師にお招きし、3～6年生対象に「落語教室」を実施しました。講師のたけ平さんの軽快な語り口と巧みな表情で表現さ



れる囃しに、会場は笑いに包まれていました。今年度の内容は、「平林(ひらばやし)」と「転失気(てんしき)」。古典落語の神髄にも触れられる貴重な体験でした。

文化庁音楽鑑賞教室

7月16日(水)に文化庁主催の音楽鑑賞教室が行われ、打楽器グループ「グータンブール」の4人が楽しい演奏をしてくださいました。フランス語で「グータン」とは「楽しい趣味の時間」、「タンブール」とは「太鼓」という意味があるそうです。ラテン楽器のジャンベ・カ



ホン・ティンバレスなどと鉄琴・木琴・ピアノを組み合わせでの演奏を聴き、素敵な時間を過ごしました。

下水道出前授業について

4年生は、7月に東京都下水道局の方をお招きして、下水道のしくみや役割などについて教わりました。普段の生活で使った後の水がどのように処理されているのか、また、大雨が降ったときに街を守る下水道の仕組みなどについて、映像で確認をしたり実験をしたりして楽しく学びました。下水道についての理解が深まり、環境にやさしい行動について考えるきっかけになりました。



学校公開・檜小まつりにご来校いただき、

🏮 ありがとうございます 🏮

7月5日(土)に行われた檜小まつりに、ご多用の中、多数の保護者や地域の皆様にご来校いただき、ありがとうございました。

檜小まつりに向けて、6年生が中心となって、それぞれのたてわり班ごとにお店の準備を進めてきました。縦割り班活動を通して、異年齢集団の絆を深めるとともに、上級生の行動を見て憧れをもったり、下級生のお世話を通して思いやりの気持ちを育んだりすることができました。

一生懸命準備をしてきた檜小まつり、大人も子供も笑顔あふれる行事となりました。

